

校長	校長	教頭	事務長	主査	係

両親の集い

収 受
 平 32.9.28
 茨菱第
 大阪府立茨木支校

昭和三十一年一月創刊（毎月一回二十五日発行）
 令和二年八月二十五日 発行
 昭和三十三年八月十三日（第三種郵便物認可）



「彼岸花の咲く頃」内田正泰氏（はり絵画家）

8

第743号
 2020



社会福祉法人
 全国重症心身障害児(者)を守る会

両親の集い

時代が変わっても変わらないもの

話すことも自分では食べることもできない。子どもの障害を容するまでの心の葛藤。それでも初めて見せる笑顔に私たち親は救われ、その喜びは生涯忘れることはない。そして世間では当たり前前のイベントでさえ家族の宝物となる。時代が変わっても、子どもへの親の思いは変わらない。

親は子どもの障害を保護してほしいと社会に要望する。その前提として、私たちは社会を構成する義務と責任を有していることを忘れてはならない。要望と義務、責任に関して自らを律するバランスが求められる。親たちだけでは守ることが困難な重症児者のいのちと笑顔を守るためには、「社会の共感」なくしては成しえない。

不安と葛藤の中で、その視線の先が自分自身の事から純粹に子どもに向けられたとき、はじめて重症児を守る運動が社会の理解を得る。重症児者の懸命に生きる姿、ひたむきさが人々の心を動かす。私たちは常に子どもたちから見つめられていることを忘れてはならない。最も弱いものをひとりももれなく守ることが私たちの使命であることを。時代が変わっても、私たちには変わらない理念がある。

(事務局長 山本一郎)

もくじ <743号>

時代が変わっても変わらないもの <巻頭言> … 1

「おもしろい」の種を蒔く …………… 榎木暢子 …… 2

訪問カレッジ・オープンカレッジ@愛媛大学 …… 6

新型コロナウイルス感染症への対応②

あしかがの森における新型コロナウイルス感染症
対策 …………… 藤田之彦 …… 8

新たな挑戦！あけぼの園芸部始動！

栗原 潤 …… 24

2019年度

全国重症心身障害児(者)を守る会(親の会)
活動報告・決算 …………… 28

ふれあう中で(福島県)

佐藤吉浩 …… 13

支部レポートⅢ(沖縄県)

新里 健 …… 14

支部レポートⅢ(鳥取県)

伊井野一郎 …… 16

親の軌跡250(埼玉県)

関根典子 …… 20

巡回療育相談事業(愛媛県) …… 27

お知らせ

・障害者の文化芸術フェスティバル
…………… 33

表紙によせて …………… 23

新型コロナ関連情報 …………… 33